

1. 実践研究テーマ

児童生徒の表現力を高めるために「学習のまとめ」「振り返り」を確保する授業実践

2. 取組の内容(協力校等との連携等を含む)

実践研究テーマ決定まで

- 次世代企画委員会の実施
全国学力・学習状況調査、ステップアップテストの結果をふまえ、生徒の強みと課題を検討
- 学力向上検討委員会の実施
次世代企画委員会の検討事案をふまえ、本年度の学力向上実行プランを作成
- 小中が連携し、児童生徒の共通課題を確認
各校の学力向上実行プランを持ち寄り、児童生徒の課題解決に向けた取組を協議し、実践研究テーマを決定



実践研究テーマ決定後

- 職員間で取組の共通理解
「学習のまとめ」「振り返り」を確保することが、課題解決につながることを認識
- 小中合同意見交流会の実施
授業で取り組んでいる「学習のまとめ」「振り返り」について、小中の先生が集まり研修
- 小中合同授業参観・授業研究会の実施
人権学習の授業を参観し、研究会で「人権問題を自分事として捉え、表現できるための工夫や手立て」について協議



3. 取組の成果

○教職員の変容

- *生徒の理解度を確認しながら授業を進めていけるようになった。
- *丁寧に言葉の説明をするようになった。
- *文章表現ができるような指導を心がけるようになった。
- *生徒の振り返りから、自分の授業の内容や方法を振り返ることができた。

○児童生徒の変容

- *文章を書く習慣がついた。
- *授業の流れを明確にするとともに、可視化することによって自分のできるところ、苦手なところを明確にすることができた。
- *授業の内容や重要なポイントを少し理解できるようになった。
- *振り返りを行うことで、授業で学んだ用語や言葉を使って説明する意識が高まった。

4. 2年次に向けての取組予定

- *更なる語彙の習得方法についての検証と様々な教材の活用方法についての研究を行う。
- *ホワイトボードやタブレットを活用して、発表したり意見交換をしたりする機会を設定するなど、協働的な学びに取り組む。
- *「学習のきまり」を重視した取組の継続と自己調整学習に取り組む手段を今後も研究し、実践していく。